

環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備】

◆◆◆◆◆ 目指せ！環境市民 ～幼児から環境教育を～ ◆◆◆◆◆

昨年度から幼児への環境教育の取組をスタートしました。幼児期から自然に親しんだり、日常生活の無駄をなくす工夫をすることによって、将来、環境に配慮した生活ができる「環境市民」になることを目指しています。

今年度は、モデル幼稚園において先生や保護者、行政で作成したプログラムをカリキュラムに組み込み、園庭を散歩しながら花や草、土のにおいを感じたり、庭の木の実を食べたり、また、電気、水やトイレトーパー等の使い方を学んだりするなど、さまざまな取組を行っています。授業の内容によって、市の職員や地域環境リーダーが先生役を務めてくれています。



◆◆◆◆◆ 出前ごみスクール ◆◆◆◆◆



ごみ問題の学習については、従来から社会科副読本「くらしとごみ」や処理センターの施設見学などにより実施していますが、今年度から子ども達が実際に触って身体を動かして体験することによって環境問題への理解が深まるように、「出前ごみスクール」のモデル実施を行います。これは、環境局職員が小学校に出張し、実演のごみ収集車などの機材を活用して、社会科や総合学習の授業において、ごみの減量化・リサイクルの体験学習を行うというものです。

内容は、スケルトン車（中身の見えるごみ収集車）による収集作業の実演、空き缶やペットボトルなどのごみ分別ゲーム、スライドによるごみ処理の流れや3Rについての学習などです。

◆◆◆◆◆ 地域環境リーダー育成講座 ◆◆◆◆◆

地域や職場で環境学習活動や環境保全活動を率先して行う「地域環境リーダー」の育成を目指した講座を毎年開催しています。

この講座では、「環境問題の基礎知識」や「リーダーになるために何が必要なのか」といった内容の講義、自ら課題・問題を見つけ、仲間達と一緒に取り組むグループワークなどを行っています。

2005年度は、半年間で10回講座を実施する予定です。（2004年度で第7期を迎え、既に135名もの修了生がいます。）

